



R8年 2月

市野谷つばさ保育園

「バウンダリー」という言葉をご存じですか？「バウンダリー」とは「境界線」という意味です。私たちがこの世界で暮らしていく上で人種、文化、国と国の境目にある境界線、自然界でいえば動物が暮らす場所と人間が生活する場所にも境界線がありました。

今回はこの「バウンダリー」といった言葉を意識しながら子どもの存在を改めて考える絵本を紹介させていただきます。

【子どもを守る言葉「同意」って何？～YES・NOは自分が決める！～】著者レイチェル・ブライアン

この絵本は、子ども自身が「自分の体や気持ちは自分のもの」「嫌だと感じたらNOと言っていい」という大切なことを、やさしい言葉とイラストで伝えてくれる一冊です。

「同意」とは、相手に合わせるのではなく、自分の気持ちを感じ、選び伝えること。この本では、選び・ふれあい・人との関わりの中で起こる身近な場面を通してYESと言うこともNOと言うことも、途中で変えてもいいという考え方が描かれています。



当園では、「自分の気持ちを大切にし、自分で選ぶこと」を日々の保育の中で大切にしています。上に、途中で気持ちが変わってもよいとありますが、一方で私たちは子どもたちに「選んだことには責任が伴うこと」「やらないという選択が出来る場面があること」そして「時にはやらなければならないことがあること」も個々の育ちや経験に応じて丁寧に伝えていきたいと考えています。

大切なのは、大人が一方的に決めること、我慢させることではなく、「なぜ必要なのか」「どうしたらできそうか」を一緒に考えることだと思います。子どもたちが沢山の失敗をしながら、「困った」「助けて」と表現した際に大人が寄り添うことが重要となり、その積み重ねが、自分の気持ちを理解し、人と折り合いをつけ、社会の中で生きていく力へと繋がっていきます。

園では、これからも「子どもの決める力」を尊重しながら、安心して挑戦し、時に立ち止まれる環境を大切にしながら、子どもが子ども時代を子どもらしく生きることを支えていけたらと思います。



2日(月) 乳児身体測定
 3日(火) 幼児身体測定
 節分会
 なかよし広場
 10日(火) ひまわり組卒園遠足
 14日(土) 成長展

19日(木) お誕生会
 ★10:30 開始予定です。
 20日(金) } 南部中学生ボランティア
 24日(火) }
 25日(水) } (9:00~12:00)

★詳細は別紙でご確認ください。

★避難・消火訓練は日にちを決めずに行います。

★お知らせ★

2歳児担任の染谷美空が体調不良によりお休みをいただいています。

その間、担任とフリー保育士やフォローの保育士で2歳児クラスの保育を進めてまいります。

保護者の皆様にはご心配をおかけしますがよろしく願いいたします。

【保育目標】

すみれ→・衣服の着脱や排泄を通して、保育者とのやりとりを楽しむ。

・保育者の言葉を模倣して発語したり、保育者や他児と喃語でのコミュニケーションを図る。

つくし→・保育者や友だちと一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。

・異年齢との関わりを通して、年上のクラスへの興味を持つ。

たんぽぽ→・保育者に見守られながら自分でできることに進んで取り組み、達成感を味わう。

・友だちと同じ場で遊ぶイメージを共有しながら関わる楽しさを感じる。

ゆり→・友だちとの繋がりを深め共通の目的をもって遊ぶことを楽しむ。

・寒さに負けず、元気に過ごしながら冬の自然に触れ関心を高める。

ばら→・さまざまな遊びに興味を持ち、友だちと一緒にやってみる。

・自分の役割に興味を持ち、最後までやり遂げる。

ひまわり→・就学への期待や不安を受け止められ、自信をもって生活する。

・友だちと協力しながら遊びや活動を進め、お互いの気持ちを認め合う心地よさを感じる。



「ごめんなさい」が出てくるまで…

子育て支援だより

「ごめんなさい」、できれば言ってほしいな…と思うことがありますよね。その場で言ってくれたらホッとするとし、つい期待してしまう事もあると思います。でも日々の生活の中で、子どもたちは思い通りにならない事や、気持ちが追いつかない場面に出会っています。そんな姿を見て、「今の関わりでいいのかな?」「ごめんなさいは言わせた方がいいのかな?」と悩むこともありますよね。

園での毎日の中でも、子どもたちは人と関わる事を少しずつ学んでいる途中です。園では、子ども同士のトラブルが起きた際など、**無理に「ごめんなさい」を言わせる事はしていません**。子どもたちは年齢や発達によって、まだ自分の気持ちを言葉にすることが難しかったり、相手の気持ちを想像する事がこれから育っていく段階だったりします。その為、「ごめんなさい」という言葉だけを先に求めてしまうと、気持ちが伴わないままの言葉になってしまう事もあります。

私たち保育者が大切にしているのは、「なにがあったのか」「どんな気持ちだったのか」を傍で受け止め、言葉にしながら一緒に整理していく事です。

「びっくりしたね」「いやだったんだね」「〇〇ちゃん、痛かったみたいだよ」そんな関わりを積み重ねる事で、少しずつ相手の気持ちに気づき、自分の思いを伝えようとする力が育っていきます。

その経験の先に、心からの「ごめんなさい」や「だいじょうぶ?」が自然と出てくる、と園では考えています。ご家庭でも、子どもの気持ちに耳を傾けながら、成長を一緒に見守っていただけたら嬉しいです。

成長展とは?

成長展とは、1年間の「子どもの育ち」を展示したもので、描いたり作った作品展示だけでなく「言葉」「健康」「人間関係」「環境」「表現」の5領域と呼ばれる分野の一人ひとりの成長を見ていただく機会となっています。

親子で一緒に成長を感じ、是非ゆつくりと作品や掲示物をご覧いただきながら、

『何をえてこれを描いたのかな?』『どんなことが出来るようになったのかな?』

『園ではどんな活動が好きなのかな?』『どんな風にお友だちと楽しんでいるのかな?』

など、普段は忙しくてなかなかゆつくり聞けない様々な疑問を、お子さんに直接聞いたり感じてもらい、毎日生活している保育園での子どもたちの様子を知っていただけたらと思います。保育園での意外な一面や成長を知ることが出来るかもしれません。園の様子を身近に感じていただき、成長展が親子の会話のきっかけとなればとても嬉しいです。そして、成長展が1年の集大成ではなく経過として捉えながら、どんどん成長していく子どもたちを保護者の皆様とこれからも一緒に見守っていきたいと思います。